

このたびは東芝住宅用フロアコンセントをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。  
お求めの東芝住宅用フロアコンセントを正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

- ケーブル工事・配管工事のいずれにもご使用できます。
- 配管工事をされる場合には、別売の大形四角深形アウトレットボックスと大形四角大丸カバーを用いてください。
- 本商品の取付可能なボックスの埋め込み深さは0～30mmの間です。

### 安全上のご注意

#### 警告

- 通電状態で結線作業を行わないでください。感電の原因となります。
- 定格電圧、定格電流を超えて施工・ご使用しないでください。  
発熱して焼損や火災などの原因となります。
- 結線は適合電線の被ふくをストリップゲージに合わせてむき、確実に奥まで差し込んでください。差し込みが不十分な場合、発熱して焼損や火災などの原因となります。
- 曲がった電線及びより線は、直接端子に接続しないでください。  
発熱して焼損や火災などの原因となります。
- 重いものをおとしたり、台車等をぶつけるあるいは蹴るなど、強い衝撃を与えないでください。破損して地絡・感電の原因となります。

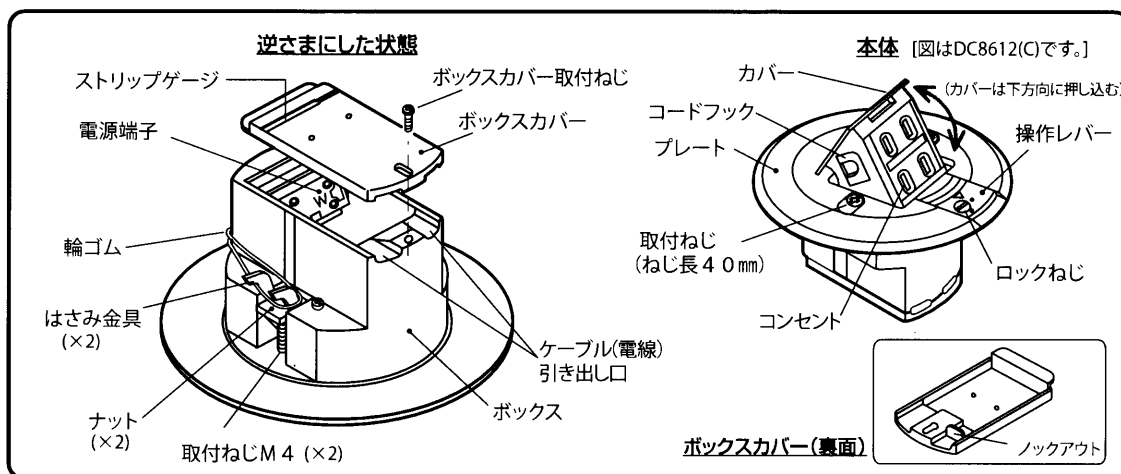
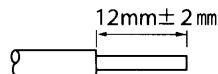
#### 注意

- 容易に点検できる乾燥した場所で使用してください。火災・感電の原因となります。
- 床暖房が施されている床には使用しないでください。結露し、漏電・感電の原因となります。
- 水や洗剤等をかけないでください。漏電・感電の原因となります。
- コンセントを使用しないときは、収納してください。人がつまずく原因となります。

### 各部の名前

#### 適合電線

- $\phi 1.6\text{mm}$ 、 $\phi 2.0\text{mm}$ の銅単線専用



### 施工方法

#### ケーブル工事の場合

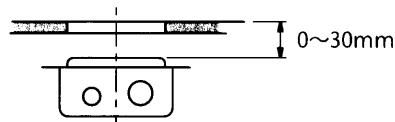
1. 個装箱に付属している下穴型紙で床に丸穴( $\phi 85$ )をあけます。  
(下穴は $\phi 85 \sim \phi 90$ の範囲で可能です。)
2. ケーブル(電線)を穴から引き出し、ボックスカバーのストリップゲージ( $12\text{mm} \pm 2\text{mm}$ )に合わせて電線被ふくをむきます。
3. ボックスカバーを外し、電線を端子の奥まで確実に差し込みます。  
(送り配線をする場合には、ニッパ等でノックアウトを取り除きます。)
4. 結線後に、ボックスカバーを取り付けます。
5. コンセントの取付方向を決めボックスを床に押し込み、取付ねじを左右交互に締め付けます。(輪ゴムは付けたまま行います。)
6. 操作レバーを手前に引き、コンセントを飛び出させ、ガタつきがないことを確認し、完了です。

#### 配管工事の場合

直接電線管工事をされる場合には、大形四角深形アウトレットボックスをご使用ください。

適合アウトレットボックス ・大形四角深形アウトレットボックス  
・大形四角大丸カバー

- ご注意
- ・付属のボックスは取り外さないでください。
  - ・はさみ金具の締め付け範囲は30mm以内です。



### ご使用方法

#### 1 コンセントを飛び出させる

- ・操作レバーを手前に動かし、コンセントを飛び出させ、レバーを元の位置にもどす。
- ※コンセントが下がってしまう場合は操作レバーを手前に動かし、カバーを上げながら操作レバーを元の位置にもどしてください。

#### 2 プラグを差し込む

- ・プラグをコンセントに差し込んだ後、コードをコードフックに引っかける。

#### 3 コンセントを収納する。

- ・操作レバーを手前に動かしながら、カバーの上部を矢印の下方向へ押し、操作レバーを元の位置にもどす。
- ※操作レバーはロック機構付です。ロックねじをコイン等で右に回すと、ロックされ、コンセントは不用意に飛び出さず、危険防止になります。